

令和2年度事業報告書

自：令和2(2020)年4月1日

至：令和3(2021)年3月31日

令和2年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言に始まり、その後感染の第二波、第三波が押し寄せる中、年が明けた翌1月8日に再度の緊急事態宣言が発出され、3月21日の解除と時を同じくして年度が終了した。

当年度の事業のうち、コロナ感染症の影響を受けて次年度に延期した公演は2回に留まり、中止した公演はなかったものの、収容率50%制限の影響を大きく受けざるを得なかった。

個々の事業については下記のとおり実施した。

事業の状況

I 公益目的事業（公1）

1 演奏家の育成事業（育成）

(1) 新進演奏家育成プロジェクト

＝文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

新進演奏家育成プロジェクトは、文化庁委託事業「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として採択された事業で、文化庁と日本演奏連盟の共催により下記の①から③までの3つの事業を実施した。

① 「リサイタル・シリーズ」の開催

（札幌2回、東京9回、名古屋2回、京都1回、大阪3回、大分1回 計18回）

リサイタル・シリーズは各地で実技オーディションを実施し、リサイタル・デビューの場を提供する事業である。リサイタルはすでに通算510回を超え、これまで多くの優秀な若手演奏家を世に送り出している。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により開催が危ぶまれる公演も多くあったが、地域の方々のサポートを得て、全国で合計18回の公演を実施することができた。

・「リサイタル・シリーズTOKYO」東京文化会館小ホール

#92 2020年7月21日（火）荒井章乃ヴァイオリン・リサイタル

#93 2020年8月24日（月）大瀧拓哉ピアノ・リサイタル

#94 2020年9月3日（木）野上剛ピアノ・リサイタル

#95 2021年1月12日（火）米倉森クラリネット・リサイタル（2020年9月28日（月）を変更）

#96 2020年10月6日（火）鈴木麻由子ソプラノ・リサイタル

#97 2020年10月20日（火）トリオ・ヴェントゥス リサイタル

#98 2020年11月11日（水）森野開ヴィオラ・リサイタル

#99 2020年12月24日（木）前川健生テノール・リサイタル

#100 2021年1月13日（水）平野沙知ピアノ・リサイタル

（※#91 2020年7月13日（月）に予定していた高梨瑞紀ヴィオラ・リサイタルは、新型コロナウイルス感染拡大防止措置の影響により2021年7月7日（水）に延期することとなった。）

・「リサイタル・シリーズOSAKA」住友生命いずみホール 協賛：住友生命いずみホール

#38 2020年8月28日（金）杉浦希未ソプラノ・リサイタル

#39 2021年1月18日（月）増田喜嘉チェロ・リサイタル（2020年11月27日（金）から変更）

#40 2020年12月4日（金）窪田香織フルート・リサイタル

（※#37 2020年7月17日（金）に予定していた宮本実クラリネット・リサイタルは、新型コロナウイルス感染拡大防止措置の影響により2021年7月16日（金）に延期することとなった。）

- ・「リサイタル・シリーズSAPPORO」札幌サンプラザコンサートホール
#20 2020年12月11日(金) 岩田真由美ピアノ・リサイタル
#21 2021年1月30日(土) 小山日女フルート・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズNAGOYA」ザ・コンサートホール(電気文化会館)
#19 2020年12月3日(木) 宇多村仁美ソプラノ・リサイタル
#20 2021年1月15日(金) 妹尾寛子フルート・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズKYOTO」京都コンサートホール・アンサンブルホールムラタ
#11 2021年2月12日(金) 伊藤咲代子クラリネット・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズOITA」iichiko 総合文化センター音の泉ホール
#7 2021年2月7日(日) 小池彩夏ヴァイオリン・リサイタル

② 「オーケストラ・シリーズ」の開催(6回)

全国6都市のプロ・オーケストラとの共催事業として、地域の音楽大学、音楽団体、教育関係者等から推薦を受けた応募者をそれぞれの地域で実技オーディションにより選考し、合格者にオーケストラとの協演の機会を提供した。現在、若手演奏家がプロのオーケストラと協演できるチャンスはコンクールの本選などの機会を除いてほとんどなく、まさに国の支援を得ることによってのみ実現可能な事業である。

- ・第55回 名古屋 2021年1月27日(水) 三井住友海上しらかわホール
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：梅田俊明
出演：西浦千陽 (Fl)、古田友哉 (Pf)、林まり恵 (Cl)、柴田花音 (Vc)、
小野綾香 (Msop)
共催：(公財) 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- ・第56回 仙台 2021年1月30日(土) 仙台銀行ホール イズミティ 21 大ホール
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：鈴木織衛
出演：船山花菜 (Mrb)、八巻梓 (Pf)、庄子三未 (Pf)、米岡結姫 (Vn)
共催：(公財) 仙台フィルハーモニー管弦楽団
後援：宮城県／仙台市／宮城県教育委員会／仙台市教育委員会
- ・第57回 福岡 2021年1月31日(日) 福岡サンパレスホテル&ホールコンサートホール
演奏：九州交響楽団 指揮：飯森範親
出演：雑賀和名花 (Fl)、伏見はな (Sax)、佐藤広美 (Sop)、内夏美 (Sop)、
小野杏奈 (Pf)
共催：(公財) 九州交響楽団
- ・第58回 札幌 2021年2月11日(木・祝) 札幌市教育文化会館大ホール
演奏：札幌交響楽団 指揮：現田茂夫
出演：下川朗 (Cb)、三上結衣 (Pf)、月下愛実 (Sop)、鶴野紘之 (Vn)
共催：(公財) 札幌交響楽団／北海道新聞社
協賛：(公財) 道銀文化財団
後援：北海道／札幌市／札幌市教育委員会
- ・第59回 大阪 2021年2月11日(木・祝) ザ・シンフォニーホール
演奏：日本センチュリー交響楽団 指揮：大勝秀也
出演：山田悠貴 (Tub)、西峰里美 (Cl)、池田真己 (Br)、裏紗蘭 (Ob)、
山下諒 (Pf)
共催：(公財) 日本センチュリー交響楽団
- ・第60回 広島 2021年2月17日(水) JMS アステールプラザ大ホール
演奏：広島交響楽団 指揮：末廣誠
出演：川本伶美 (Ob)、若林麗 (Vn)、柴田優香 (Sop)、進正裕 (Sax)
共催：(公社) 広島交響楽協会
後援：中国新聞社

③ 「日本歌曲の公開マスタークラス」 講師：瀬山詠子

国内のトップクラスの演奏家・指導者を講師に招き、オーディションで選抜した若手演奏家がステージで指導を受ける事業で、今年度は日本歌曲の公開マスタークラスを実施した。

講師の瀬山詠子氏は、長年にわたり日本歌曲の普及に力を尽くされてきたこの分野の第一人者であり、今回は11月に2回にわたり小規模ホールで指導を仰ぐ機会を設け、その後12月に成果発表の場として東京オペラシティ・リサイタルホールで公開マスタークラスを開催した。いずれの場合もまず詩の朗読と歌唱をセットにしたマスタークラスとしたが、作詩された時代背景と詩の解釈、言葉の響かせ方など、受講生や聴講生にとって母国語でありながらも学ぶことの多い非常に貴重なマスタークラスとなった。

今回は新型コロナウイルス感染拡大のもとでの歌曲のマスタークラスの開催となったため、小規模ホールでの開催は受講生のみでの非公開とせざるを得なかった。一方、リサイタルホールでは、感染症対策を万全にした上で予定どおり公開とし、声楽を学ぶ若い世代からベテランの歌手の方まで幅広い世代の聴講生の参加を得ることができた。

- ・2020年11月13日（金）紀尾井町サロンホール
- ・2020年11月18日（水）紀尾井町サロンホール
- ・2020年12月17日（木）東京オペラシティ・リサイタルホール

受講生／岡本恵、藤原千晶、和田祐樹、渡邊まりえ、木田悠子、
三部恵梨、茂木真由美、中村良枝、藤澤幸義子

（2）文化庁新進芸術家海外研修制度の協力＜2022年度派遣対象＞

新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募の取りまとめを行なった。

研修期間	日演連受付け数	左記の合格者数
1年研修（200～350日）	3名	0名
2年研修（700日）	1名	0名
特別研修（80日）	0名	0名
計	4名	0名

2 音楽普及活動（自主公演）

（1）「2021 都民芸術フェスティバル」の主催公演

＝助成：東京都＝

都民芸術フェスティバルは東京都助成による新春を飾るフェスティバルで、毎年1月から3月にかけて実施しており、今回で52回目を数える歴史ある催事である。

令和2年度は広範な芸術ジャンルの中から10部門、100公演が実施される計画で、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を開催した。例年オーケストラ・シリーズ8公演と室内楽シリーズ3公演合計11公演を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況にあって、室内楽シリーズを1公演に減らし、全9公演の開催となった。またチケット販売についても、例年オーケストラ・シリーズは全8公演セット券を10月に発売していたが、今年度はセット券発売を見送った。11月以降新型コロナウイルス感染症の第三波が押し寄せ、結果的に都民芸術フェスティバル開催期間の1月から3月まですべての公演が緊急事態宣言下における開催となり、収容率50%の制限のもとでの開催にせざるを得ない状況となった。

① オペラ（3団体 8公演）

- ・プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」共催：（公財）日本オペラ振興会＜直接事業＞
藤原歌劇団公演 2021年1月30日（土）、31日（日）2回公演／東京文化会館大ホール
- ・ワーグナー作曲「タンホイザー」共催：（公財）東京二期会＜直接事業＞
東京二期会オペラ劇場 2021年2月17日（水）、18日（木）、20日（土）、21日（日）
4回公演／東京文化会館大ホール

- ・中村透作曲「キジムナー 時を翔ける」共催：(公財) 日本オペラ振興会<直接事業>
日本オペラ協会公演 2021年2月20日(土)、21日(日)2回公演／新宿文化センター大ホール

② オーケストラ・シリーズ No. 52 (8 団体 8 公演) / 東京芸術劇場コンサートホール

- ・2021年1月20日(水) 演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
指揮：高関健 ピアノ：横山幸雄

～音楽の喜び～

ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11

ショスタコーヴィチ：交響曲第5番 ニ短調 作品47「革命」

- ・2021年2月2日(火) 演奏：東京交響楽団

指揮：原田慶太楼 ヴァイオリン：前橋汀子

～変革の時代～

グリнка：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26

ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調 作品55「英雄」

- ・2021年2月4日(木) 演奏：読売日本交響楽団

指揮：沼尻竜典 ピアノ：小山実稚恵

～欧州の魅惑～

ワーグナー：歌劇「さまよえるオランダ人」序曲

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 作品23

メンデルスゾーン：交響曲第4番 イ長調 作品90「イタリア」

- ・2021年2月10日(水) 演奏：東京フィルハーモニー交響楽団

指揮：渡邊一正 チェロ：佐藤晴真

～ドヴォルザーク・アーベント～

序曲「謝肉祭」作品92

チェロ協奏曲 ロ短調 作品104

交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

- ・2021年2月15日(月) 演奏：東京都交響楽団

指揮：梅田俊明 ピアノ：仲道郁代

～傑作の愉しみ～

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」

ドヴォルザーク：交響曲第8番 ト長調 作品88

- ・2021年2月24日(水) 演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団

指揮：石崎真弥奈 ヴァイオリン：徳永二男

～ふたりのB～

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61

ブラームス：交響曲第4番 ホ短調 作品98

- ・2021年3月15日(月) 演奏：NHK交響楽団

指揮：キンボー・イシイ ヴァイオリン：松田理奈

～燦めくひと時～

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」K.492<序曲>

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 作品92

- ・2021年3月17日(水) 演奏：日本フィルハーモニー交響楽団

指揮：太田弦 ピアノ：伊藤恵

～愛の一夜～

シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」作品35

③ 室内楽・シリーズ No. 20 (1 公演) 東京文化会館小ホール

・2021年3月11日(木)

～想いを寄せて～一オール・ベートーヴェン・プログラム～

チェロ：堤 剛 ピアノ：小菅優

モーツァルトの歌劇「魔笛」から「恋人か女房があればよいが」の主題による12の
変奏曲 へ長調 作品66

チェロ・ソナタ第1番 へ長調 作品5-1

チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 作品102-1

チェロ・ソナタ第3番 イ長調 作品69

3 調査研究及び権利擁護活動(調査、資料収集)

(1) 「演奏年鑑2021音楽資料(通巻第47号)」の刊行

＝文化庁委託事業「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

B5判 440頁 1,500部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

様々な形態で開催されているクラシック音楽の演奏会を都道府県別にジャンル分けして数値化した統計表の他、楽界展望、各種音楽賞やコンクール入賞記録、音楽関連団体・音楽家人名録、ホール便覧に加えて新進演奏家の活動の指針となるテーマを重点的に調査したものを約440頁にまとめ発行した。なお、今号は新型コロナウイルス感染拡大防止措置による公演の延期、中止が相次ぎ、加えてライブ配信等も本格的に実施されるようになり、時間的な制約の中で、正確な情報収集は困難なものとなった。一方、今号では演奏年鑑に掲載されている演奏家に対し、新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴う音楽活動への影響に関するアンケートを実施し、その集計結果を掲載した。また演奏年鑑のWebサイトをリニューアルし、閲覧可能な情報については公開するべく努めた。紙媒体での演奏年鑑は2020年1年間の情報を網羅しているが、暦年における演奏会回数情報等についてはWebサイト上で情報を更新した。

(2) 機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布

B5判 8頁 3,430部 会員及び関係団体等に無料配布。

毎月1回発行により、タイムリーな情報を掲載するよう努めた。特に今年度は新型コロナウイルス感染拡大により打撃を受けた芸術文化関係者に対して、国は本予算とは別に第1次～第3次まで芸術文化関連の補正予算を組んだため、会員に対してこれらの有効な情報発信を速やかに伝達するよう努めた。また音楽系教員公募やオーケストラ楽員募集など、我が国の楽界における様々な情報をまとめ毎月1回発行し、情報の周知に努めた。

(3) 著作隣接権の権利擁護と個人分配に協力

一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNを構成する団体の一員として、演奏家が有する著作隣接権の様々な諸権利に基づく報酬が適正に分配されるため、広報活動や委任契約促進活動などに協力した。またMPNに設置したクラシック委員会(日本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟)の中心団体としてクラシック部門の報酬分配のための作業を積極的に推し進め、2018年度徴収分のクラシック部門の個人分配作業を行った。

2018年度徴収分…788件 65,510,690円

(4) 令和2年度文化庁補正予算 文化芸術活動の継続支援事業

総額509億円が予算措置された「文化芸術活動の継続支援事業」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動自粛を余儀なくされたフリーランスを含む個人事業者(演奏家等)等に対して、感染対策を行いつつ、直面する課題を克服し、活動の再開・継続に向けた積極的取組に必要な経費を支援するというもので、個人事業者は20万円を上限として、より積極的な取組を行う個人事業者には150万円を上限として補助する制度。対象となる申請条件は、過去3年間で複数回の文化芸術活動を行う個人で①不特定多数に公開することによってチケット収入等をあ

げること前提としたものであって②新型コロナウイルス感染症によるイベント等の自粛によって大きな影響を受けるとともに、③今後の再開に当たって複数の者の参加が必要であったり、稽古が必要などの理由など何らかの事情がありすみやかな再開が困難であったり、新型コロナウイルス感染拡大予防のために従来と同様の収入が確保できない可能性があるなどの事情がある活動を支援する制度。この申請にあたって事前確認の手続きを円滑に実施するため、文化庁はクラシック音楽に係る演奏家等の統括団体として、日本演奏連盟を事前確認番号発行団体に認定し、番号を発行する作業を事務局において行った。

【日本演奏連盟事前確認番号発行業務】

確認番号付与件数	917 件
申請件数	827 件
交付決定件数	774 件

(5) 他の芸術文化団体との連携協力

【クラシック音楽公演運営推進協議会】

公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本クラシック音楽事業協会とともにクラシック音楽公演運営推進協議会（事務局：日本クラシック音楽事業協会）に参画し、コロナ禍における演奏活動の再開に向けた様々な取組に協力して活動した。

①令和2年度文化庁補正予算「文化芸術活動の継続支援事業」共同申請 交付決定事業

コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト～クラシック音楽演奏・鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験

主催：クラシック音楽公演運営推進協議会（一社）日本管打・吹奏楽学会

未知のウイルスである新型コロナウイルス感染症は、その発生の初期の段階において飛沫感染のリスクがどの程度のものか、人と人がどの程度の距離を保つことによってそのリスクが軽減されるのか等の科学的データが存在しなかった。このためクラシック音楽に関わる者は科学的なエビデンスを根拠としてコロナと共存を図っていく以外、音楽活動を継続することは困難であるという共通の認識のもと、完全なクリーンルームにおいて感染症や計測制御学の専門家、演奏家、楽器技術者等の協力を得て演奏及び歌唱における飛沫実験を実施することとなった。この検証結果を踏まえた上で、演奏活動継続に向けた合理的な対策を組み合わせ、コロナ下における音楽芸術の振興に寄与することを最終的な目的と位置付けた。実験には感染症の専門家多数の方々が無償で参加して下さったが、文化庁の共同申請事業に申請し、採択された。

日程：2020年7月11日（土）～7月13日（月）器楽演奏の微粒子可視化撮影等

2020年9月26日（土）～9月27日（日）歌唱の微粒子可視化撮影等

場所：新日本空調株式会社技術開発研究所クリーンルーム（長野県茅野市）

専門家：林淑朗（亀田総合病院集中治療科部長、集中治療専門家）

宮内博幸（産業医科大学作業環境計測制御学教授）

上原由紀（聖路加国際病院感染症専門医）

具芳明（国立国際医療研究センター感染症専門医）

塚田訓久（国立国際医療研究センター感染症専門医）

具芳明（国立国際医療研究センター感染症専門医）

縣和平（サイバーセキュリティコンサルタント）

縣智香子（東京都看護協会新型コロナウイルスプロジェクトアドバイザー）

加藤英明（横浜市立大学附属病院）、

津田洋子（帝京大学）

協力：（公財）NHK交響楽団、（公財）名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、（公財）新国立劇場運営財団、東京混声合唱団、(株)ヤマハミュージックジャパン、新日本空調(株)、日本放送協会、(株)パーティクルプラス

器楽演奏実験報告書（全 107 頁）

<https://drive.google.com/file/d/1Nddt04SFTeBT1X2Ls7vCjggfVYi0Zj7V/view?usp=sharing>

歌唱実験報告書（全 83 頁）

https://storage.googleapis.com/classicorjp-public.appspot.com/200925_27chorusreport.pdf

- ②クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン策定
公演実施に向けた感染防止対策ガイドライン（6/11 策定、9/18 改定、12/1 改定）策定、改定に協力した。
- ③アーティストの海外からの日本入国時の 14 日間待機免除の要望書を内閣府、文化庁に提出
文化庁次長内閣審議官及び内閣官房内閣審議官に対して、アーティストの海外からの 14 日間待機免除についての要望書を提出した（12/1 付け）。
- ④緊急事態宣言によるイベント開催制限に伴う協力金支給要望書を財務大臣、経済産業大臣、文化庁長官に提出
再度の緊急事態宣言によりクラシック音楽公演も開催制限を受けて、事業収入が大幅に減少していることから、演奏家、演奏団体、事業者への協力金支給の要望書を提出した（2021 年 1/22 付け）。
- ⑤緊急事態宣言の終了に伴うイベント制限（公演終了時間 20 時以降）の許容についての要望書を東京都生活文化局文化振興部に提出
感染拡大防止予防ガイドラインの徹底遵守を前提に、大声での歓声、声援等がないクラシック音楽公演について、20 時以降の終演を許容するよう東京都に要望した（2021 年 3/11 付け）。

【芸術家会議】【文化芸術推進フォーラム】

日本演奏連盟が事務局を務めている芸術家会議は全国のオーケストラ、オペラ、合唱、バレエ、演劇、古典芸能など 42 の芸術創造団体で構成する組織で、昭和 47(1972)年の設立以来国の芸術文化予算の拡充、芸術団体に対する税制改正等を求める活動を展開してきた。

令和 2 年度においては新型コロナウイルス感染拡大による舞台芸術活動の中止、延期が全国的に続き、芸術家会議が加盟する文化芸術推進フォーラム（※）として 4/6 に文化芸術振興議員連盟及び文化庁に対して緊急アピールを発表した。

1. 最低 1000 億円の文化芸術復興基金を早急に創設すること
2. 舞台芸術関係者の活動継続のための緊急無利子無担保融資を実行すること

※文化芸術推進フォーラム／構成 23 団体、（公社）日本芸能実演家団体協議会、（一社）日本音楽著作権協会、（一社）日本レコード協会、（公社）日本オーケストラ連盟、（一社）日本クラシック音楽事業協会他、公立文化施設、映画、美術、写真の統括団体が加盟。

また芸術家会議では、令和 3 年度文化庁概算要求に向けての要望書を提出したほか、令和 2 年度第 1 次、第 2 次、第 3 次補正予算説明会、令和 3 年度文化庁概算要求説明会、令和 3 年度文化庁予算のそれぞれの説明会を会員団体に向けて開催した。

令和 2 年度文化庁予算 1,067 億円

令和 2 年度文化庁第 2 次補正予算 文化芸術活動への緊急総合支援パッケージ 560 億円

令和 3 年度文化庁概算要求 1,588 億円

令和 2 年度文化庁第 3 次補正予算 コロナ禍における文化芸術活動支援 370 億円

令和 3 年度文化庁予算 1,075 億円

【東京都芸術文化団体協議会】

都民芸術フェスティバルに参加する団体を中心に他の芸術ジャンルの団体とともに東京都芸術文化団体協議会を組織しており、その事務局を努め、今後の協議会の在り方について検討した。

(6) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供

ホームページや演奏年鑑で、国際音楽コンクールに関する情報を発信した。

(7) Web サイトや SNS を活用しての情報発信

当連盟の Web サイト、Twitter、Facebook を通じて事業・催事案内、入会案内、著作権隣接権、教員公募、楽員募集など音楽界に関わる様々な情報を発信するとともに、今年度はぴあ Gettii のチケット販売システムを導入し演奏会チケットのインターネット予約販売を行った。

また令和 3 年度のホームページ全面リニューアルに先駆けて、まず演奏年鑑のサイトを全面リニューアルし、スマホでの閲覧も可能とした。

4 助成・奨学活動（応募型）

(1) 増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ

ソプラノ歌手の増山美知子さんから提供された資金をもとに、35 歳以下の若い演奏家の本格的自主公演に対して経済的援助（1 公演 10 万円）を行った。

今年度は 2 公演を採択したが、うち、1 公演は新型コロナウイルス感染拡大の影響により公演を実施することができなくなった。

応募件数／3 件 採択／2 件（内 1 件辞退）

実施した公演

- ・ 2020 年 12 月 4 日（金）Trio PIA 4th Concert／練馬文化センター小ホール
（※2020 年 3 月 23 日実施予定だったが延期し、今年度振替公演を実施した。）
- ・ 2021 年 1 月 23 日（土）寺根佳那 CD リリース記念ピアノ・リサイタル／彩の国さいたま芸術劇場音楽ホール

(2) 宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度（給付型）

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル（愛知県名古屋市）の宗次徳二理事長から支援を得て、プロのクラシック音楽の演奏家を志す全国の優秀な学生、若手演奏家に対し、教育機関での学業費用または国内での研修費用等を支援する奨学金制度（返済不要の給付型で月額 5 万円）を実施した。令和 2 年度は、書類審査、CD 審査、実技審査を経て下記の 15 名を奨学生に決定した。当制度の支援期間は最長で 2 年間までとなっている。

応募総数 46 名 奨学生 15 名

新規：尾城杏奈（ピアノ）、尾脇眞子（ヴァイオリン）、小玉友里花（ソプラノ）、
タカモト知弥（コントラバス）、田中里奈（ヴァイオリン）、福田優花（ピアノ）、
藤村瑛亮（ピアノ）、牧山亮（バス）、村上小夏（フルート）、吉田夢佳（ピアノ）

更新：安藤友香理（クラリネット）、大倉佳栄（ヴァイオリン）、東海林茉奈（ピアノ）、
武岡早紀（ピアノ）、西田昂平（バリトン）

また令和 3 年度の奨学生を選考する審査を実施した。

5 啓蒙・啓発活動

(1) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について＜後援名義使用申請＞を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

・年間申請件数 75 件 うち承認件数 75 件

(2) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業をコンサート・アシストとして実施しているが、令和 2 年度は 3 公演を予定していたが、内 1 公演は中止、2 公演は令和 3 年度に延期した。

(3) 東日本大震災復興支援のための演奏会協力

日本赤十字社福島県支部の要請を受けて富岡町立第1・第2中学校、第1・第2小学校の生徒を対象に、音楽鑑賞会を実施した。

日本赤十字社福島県支部学校支援事業

<芸術鑑賞会> ヴァイオリン/大谷康子 ピアノ/小山さゆり

・2020年12月17日(木) 13:30~14:50/福島県田村郡三春町富岡第1・第2中学校三春校体育館

II その他の事業(相互扶助等事業)

1 会員向け事業

(1) 宗次エンジェル基金 正会員のための公演中止に係る支援金

NPO法人イエロー・エンジェル宗次徳二理事長からの寄附金を財源に、新型コロナウイルス感染拡大防止措置により出演(開催)予定の有料公演が中止になった正会員に対し、自己申告に基づき今年度限定の支援制度を構築した。

告知:機関紙「えんれん」8月号(7/15発行号)及び9月号(8/15発行号)の2回
申請締切:2020年9月18日(金)必着

・正会員146名に対し1名あたり10万円を支援した。

(2) 「山田康子奨励・助成コンサート」(年間6公演以内)

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行う事業で、助成枠を年間6公演以内とし、常任理事会で厳正に審査し決定した。今年度は5公演を助成した。

(総申請件数 8件)

- ・2020年10月17日(土) 相川麻里子 Fête des Vendanges vol.10~収穫祭~トリオ・エスパス コンサート/王子ホール
- ・2020年11月1日(日)、11月21日(土)
夭折の天才作曲家・ショパンの愛弟子カール・フィルチュ生誕190年記念萩原千代ピアノリサイタル/Salon de la Mer、目黒・芸術の家スタジオ
- ・2020年11月2日(月) 浪漫の花束~色とりどりの性格的小品(キャラクターピース)とドイツ・リートの世界~三宅麻美ピアノ・リサイタルシリーズ/王子ホール
- ・2020年11月6日(金) 三木康子ピアノリサイタルー時空を超え未来に響く音を求めて No.7ー/住友生命いずみホール
- ・2021年3月20日(土) 梅津三知代ハープリサイタルデビュー35周年~弦(いと)と木が織りなす魔法~/東京オペラシティ・リサイタルホール

(3) 「日本演奏連盟会員名簿」(年1回)の発行

B5判 118頁 3,100部 11月に全会員に配布。

(4) 福祉厚生に関する互助業務

互助規程に則り、互助給付を行った。

互助給付の最近の実績

(単位：千円)

給付内容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入院給付	860 (10 件)	1,625 (19 件)	1,355 (17 件)	1,490 (17 件)
死亡給付	620 (8 件)	1,080 (12 件)	800 (10 件)	1,180 (14 件)
健診補助給付	137 (46 件)	83 (28 件)	91 (31 件)	80 (27 件)
永年祝金給付	1,452 (27 件)	1,242 (23 件)	1,974 (38 件)	1,428 (27 件)
熊本地震会費免除分及び見舞金				
合計	3,069 (91 件)	4,030 (82 件)	4,220 (96 件)	4,178 (85 件)

(5) 芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い

公法人東京芸能人国民健康保険組合が管理する国民健康保険への加入の事務取り扱いを行った。
令和 2 年 3 月末現在の加入状況は、次のとおり。() 内は前年実績

- ・ 芸能人国民健康保険加入者 45 人 (48 人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険・賠償保険の事務手続きを行った。

(6) 会員のための税務相談

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。

(7) 会員のための法律相談

会員が演奏及び演奏業務に係ることについて、顧問弁護士による法律相談を受けられるよう仲介した。

庶務の概要

1 会員に関する事項

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

正会員	特別会員	賛助会員
2,762 人	315 人	法人 43

2 賛助会員に関する事項

(令和 3 年 3 月 31 日現在 法人 43)

法人＝秋篠音楽堂運営協議会

NPO 法人イエロー・エンジェル

上野学園大学

公益財団法人 NHK 交響楽団

株式会社 NHK ビジネスクリエイト

エリザベト音楽大学

株式会社大塚商会

株式会社音楽之友社

株式会社河合楽器製作所

国立音楽大学

公益財団法人サントリー芸術財団

昭和音楽大学

公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団

聖徳大学

洗足学園音楽大学

仙台国際音楽コンクール組織委員会
 株式会社全音楽譜出版社
 相愛大学音楽学部
 株式会社東京合唱協会
 公益財団法人東京交響楽団
 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
 公益財団法人東京都交響楽団
 公益財団法人東京二期会
 一般社団法人東京ニューシティ管弦楽団
 公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団
 東邦音楽大学
 桐朋学園大学
 名古屋音楽大学
 奈良県音楽芸術協会
 公益財団法人日本オペラ振興会
 公益財団法人日本室内楽振興財団
 日本大学藝術学部音楽学科
 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
 株式会社野毛印刷社
 フェリス女学院大学音楽学部
 株式会社ぶらあぼホールディングス
 株式会社松尾楽器商会
 村松楽器販売株式会社
 株式会社ヤマハミュージックジャパン
 一般財団法人ヤマハ音楽振興会
 ヨシコクリニック
 公益財団法人読売日本交響楽団
 公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション (50音順)

3 通常総会に関する事項

開催年月日	通算回	議 事 事 項	結 果
2020年6月2日(火) 16:30~17:50 東海大学校友会館 「朝日の間」 *出席者数 1,914名 (委任を含む) <定足数 934名>	第55回	1. 定款施行細則の改定の件 2. 平成31年度事業報告書及び貸借対照表、 損益計算書(正味財産増減計算書)並びに 財産目録の承認の件	可決 可決

4 役員会等に関する事項

(1) 理事会の開催 (3回開催)

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2020年5月12日(火) 書面議決	1. 平成31年度事業報告書及び貸借対照表、損益計算書 (正味財産増減計算書)並びに財産目録の承認の件 2. 令和2年度第55回通常総会議案の件 3. 正会員入会者及び特別会員の承認の件 報告事項 理事長・専務理事・常任理事の職務の執行の状況の報告	可決 可決 可決
2020年7月17日(金) 書面議決	1. 公益社団法人日本演奏連盟互助規定別表の一部改定について	可決

2021年3月4日(木) 14:00~15:20 新橋・田中田村町ビル 会議室 5A	1. 令和3年度第56回通常総会の招集の決定の件 2. 役員改選による新役員候補者選任の件 3. 令和3年度事業計画・収支予算・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認の件 4. 正会員入会者及び特別会員の承認の件 報告事項 理事長・専務理事・常任理事の職務の執行の状況の報告	可決 可決 可決 可決
---	---	----------------------

(2) 常任理事会の開催(10回開催)

開催年月日	主な議事事項
2020年6月2日(火)	NPO 法人イエローエンジェル宗次徳二理事長からの支援の申し出について
2020年6月29日(月)	互助給付承認について、宗次エンジェル基金による正会員のための公演中止に伴う支援金について、一般管理費率の算出と設定他
2020年7月17日(金)	増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ令和2年度後期選出について、第56回総会について他
2020年9月28日(月)	令和3年度公開マスタークラス講師について、宗次エンジェル基金による正会員のための公演中止に伴う支援金について他
2020年10月21日(水)	入会希望者審査、2021 都民芸術フェスティバル チケット販売について、令和2年度第3回理事会日程について他
2020年11月27日(金)	入会希望者審査、後援名義使用承認願審査、来年以降の運営について新型コロナウイルス感染以降
2020年12月22日(火)	互助給付承認について、山田康子奨励・助成コンサート令和3年度前期選出について他
2021年1月22日(金) 書面決議	入会希望者審査、後援名義使用許可申請審査、会費滞納者について他
2021年2月26日(金)	増山美知子奨励助成コンサート令和3年度前期審査、第3回理事会議案について、事務局勤務体制について他
2021年3月23日(火)	2022 都民芸術フェスティバルについて、事務局長定年による人事について他

(3) 関西委員会の開催(1回開催)

2020年8月28日(金) 総会報告他

(4) 演奏年鑑編集委員会(1回開催)

2020年6月26日(金) 演奏年鑑2021編集会議

(5) 財務委員会の開催(3回開催)

2020年4月30日(木) 平成31年度決算作業の点検と決算書作成等

2021年1月19日(火) 三田労働基準監督署労働時間に関する調査を受けての是正点の検討

2021年2月22日(月) 令和3年度予算案の検討と予算書作成等

(6) 宗次エンジェル基金支援金検討委員会(2回開催)

2020年6月9日(火) 宗次エンジェル基金による正会員のための支援金

2020年9月25日(金) 宗次エンジェル基金による正会員のための支援金

5 役員に関する事項

役員

理事長 (代表理事)	堤	剛
専務理事 (業務執行理事)	金山茂	人
常任理事 (業務執行理事)	伊原直	子
全	梅本俊	和
全	海野義	雄
全	岸田生	郎
全	栗林義	信
全	小林	仁
全	澤	恵理子
全	下八川	共 祐
全	杉木	峯 夫
全	吉井	實 行
理事	青柳	いづみこ (本名 戸井田いづみ)
全	秋山	和 慶
全	飯守	泰次郎
全	伊藤	京 子 (本名 長谷川 京)
全	植田	克 己
全	大友	直 人
全	尾高	忠 明
全	木村	俊 光
全	郡	愛 子
全	小林	研一郎
全	佐々木	真
全	篠崎	史 子
全	徳永	二 男
全	野平	一 郎
全	弘中	孝
全	松本	美和子
監事	河内	健 次
全	中山	欽 吾
全	牧山	嘉 道

※令和3年3月31日現在

※役員任期は平成31年度～令和2年度

令和2年度事業報告書の附属明細書

令和2年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。